令和 5年度　　事務事業評価表（　令和 4年度　の実績評価）

記入年月日	
令和 5 年 4 月 3 日	

事務事業名	りんりんロード利活用促進事業	事業区分		担当	
		新規/継続	継続	事務事業№	040302000567
政策体系上の位置付け		単独/補助	補助	所属課	050301
政策体系	総合計画の施策名	0403	観光の振興		商工観光課
	政策名	04	活力ある産業のまちづくり	課長名	
	施策名	03	観光の振興	グループ	商工観光グループ
	手段名	02	②観光資源の充実と商品開発	担当者名	

財務会計上の位置付け								事業期間
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し　（ 平成30 年度～）
	01	07	01	04	01	00	観光事業	↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入

法令根拠

【Do】　1．事務事業の現状把握（その1）

（1）事務事業の概要

手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	平成30年度に設立されたつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会（事務局：県スポーツ推進課）のレンタサイクル部会の事業を所管している。 主な事務は、つくば霞ヶ浦りんりんロードの整備に関わる連絡調整や、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線の市と協力したレンタサイクル事業の運営である。	つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会への出席 レンタサイクルの運用（高砂旅館への業務委託、利用者報告：毎月） 利用促進イベントへの参加、協力

（2）事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	03年度（実績）	04年度（実績）	05年度（計画）	06年度（目標）	07年度（目標）
つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会への参画	つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	03年度（実績）	04年度（実績）	05年度（計画）	06年度（目標）	07年度（目標）
つくば霞ヶ浦りんりんロードへ興味のある方	ホームページ閲覧数（日本語、英語、繁体字）	人	185,139.00	612,639.00	700,000.00	720,000.00	750,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	03年度（実績）	04年度（実績）	05年度（計画）	06年度（目標）	07年度（目標）
つくば霞ヶ浦りんりんロードの利用促進	広域レンタサイクル利用者	人	3,155.00	3,826.00	3,900.00	4,000.00	4,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

（3）　投入量（事業費）の推移

投入量			03年度（実績）	04年度（実績）	05年度（計画）	06年度（目標）	07年度（目標）	期間限定総投入量
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	492	492	492			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	338	338	338			
事業費計（A）		千円	830	830	830			
正規職員従事人数		人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳

04年度事業費 実績（千円）				05年度事業費 予算（千円）			
18 負担金補助及び交付金	830			18 負担金補助及び交付金	830		
		合　計	830			合　計	830

（4）当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会への出席。高砂旅館への業務委託、利用者報告を毎月行う。	つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会への出席。高砂旅館への業務委託、利用者報告を毎月行う。	つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会への出席。高砂旅館への業務委託、利用者報告を毎月行う。

事務事業名	りんりんロード利活用促進事業	事務事業№	40302000567	所属課	商工観光課

（5）この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？　開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

平成14年2月に県及び沿線市町村（桜川市・つくば市・土浦市）により、つくばりんりんロード利活用促進会議が発足。平成24年からは利用促進に関する意見や情報交換の場となっている。その後、水郷筑波サイクリング環境整備事業推進検討会が発足、平成28年に水郷筑波広域レンタサイクル事業実行委員会が発足、平成30年には各委員会が統合され、つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会が設立された。レンタサイクル事業は、当協議会の広域レンタサイクル部会で運営を実施している。

（6）この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

利用を促進して欲しい、また道路を整備して欲しいとの要望がある。

【See】　2．評価の部　　＊原則は事前評価。

	評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性　（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	結びついている	りんりんロードの利活用を促進し、観光の振興にもつながるので結びついている。
	② 公共関与の妥当性　（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
	妥当である	つくばりんりんロードの利活用促進と周辺地域の活性化に資することを目的としていることから妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地　（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	向上余地がある	利用促進を図ることで広域レンタサイクルの利用者は今後も増加する可能性が高いことから、向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響　（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
	影響有	県、各市と連携しており、周辺地域の活性化の一助となる事業であるため影響は大きい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性　（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））	
	（他に手段がある場合）⇨	具体的な手段、事務事業名
	余地がない	すで県や各市、また関係機関と連携している。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	削減余地がない	協議会に加盟している各市負担金の支払であることから、削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地　（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	公正・公平である	適正に負担金額が割り振られていることから公正・公平である。

【Plan】　3．評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

（1）　1次評価者としての評価結果

①目的妥当性	■	適切	□	見直し余地あり
②有効性	□	適切	■	見直し余地あり
③効率性	■	適切	□	見直し余地あり
④公平性	■	適切	□	見直し余地あり

⇨

（2）　全体総括（振り返り、反省点）

サイクリングブームから、サイクリングに対する関心が高まっており、ホームページ閲覧数・レンタサイクル利用者は増加傾向にある。

（3）　今後の事業の方向性

□ 終了　■ 継続 → ■ 改革改善を行う →
□ 廃止　□ 休止 → □ 現状維持

（複数回答可）

□ 目的の再設定	□ 効率性の改善
■ 有効性の改善	□ 公平性の改善
□ 統廃合ができる	□ 連携ができる

（4）改革・改善による期待成果
（終了・廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト 削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			╳
	低下		╳	╳

（5）　改革，改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

りんりんロードの休憩場所の環境整備を整えてほしいとの要望が多くあり、また車通りが多い場所の危険性もあることから、他市町村担当課と連携を取りながら環境整備を行い、利用者の増加に繋げる方策を図っていく。

（6）事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果	⑤

【Check】　4．確認及び改革改善に向けての指摘事項

（1）　課長評価

課長確認後の評価

B

A：継続（現状維持）　C：終了、廃止、休止
B：継続（改革改善を行う）　D：2次評価へ提出

（2）　部長確認及び評価　（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）

確認欄
確認